建設環境常任委員会会議記録（概要）

令和7年6月6日（金）

開 会 （午前9時0分）

（委員長挨拶）

（副委員長挨拶）

（委員挨拶）

席次の決定 別紙3のとおり

【議 事】

○議案第59号「所沢市布設工事監督者を配置する水道の布設工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格に関する条例の一部を改正する条例制定について」

【補足説明】 な し

【質 疑】 な し

【意 見】 な し

【採 決】

川辺浩直委員
長

議案第59号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第60号「所沢都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例制定について」

【補足説明】なし

【質 疑】

花岡健太委員

今回、受益者負担金に関して、第1次市街化調整区域下水道整備計画と第2次市街化調整区域下水道整備計画では、受益者負担金が第1次の際には、5区負担区で1,000円だったのが1,350円になっているので1.3倍にもなってしまう。

今回、第1次市街化調整区域下水道整備計画、第2次市街化調整区域下水道整備計画で整備対象区域を分けた基準は、人口密集地を優先にやられたような話を伺ったが、どういう基準で第1次と第2次を分けたのか。

加藤下水道維

第2次につきましては、第1次が終わった時点で要望が多数あり、その要望を基に区域を設定しております。

持担当参事

花岡健太委員

負担金に関しては、都市計画法を根拠に定めているものであって、第75条には、当該事業に要する費用の一部を当該利益を受ける者に負担させることができると、できる規定になっている。つまり、自治体が判断すれば、減免など可能である、負担が大きくなってしまうと判断すれば、負担軽減をすることができるということによろしいか。

加藤下水道維
持担当参事 受益者負担金について、どれくらい負担率をかけるかは、自治体に任せられており、条例で定めることになっています。

花岡健太委員 第1次市街化調整区域の時の計算方法と今回の計算方法で、事業費を平米で割った方法と物価上昇率をかけた方法と2パターン、市で行っている計算方法があったとヒアリングで伺ったが、詳しく説明していただきたい。

加藤下水道維
持担当参事 一般的な受益者負担金の算出方法として、事業費に負担率を掛けるというやり方が一般的です。第1次の調整区域、第5区、第6区、第7負担区については、そのやり方で算出し、1,000円から1,030円の間で受益者負担金が決定しました。第8区につきましては、同じ方法で算出しますと、上昇率が大きく、かけ離れた受益者負担金に設定されることになってしまうことが分かりましたので、第7区に物価上昇率を掛けるというやり方で、受益者負担金の上昇を抑える算出方法で1,130円に決定されました。今回の第10負担区も同じ負担率を掛ける算出方法ですと、かけ離れた金額になってしまうことから、前回の算出方法に倣い、1,350円という金額に設定しました。

花岡健太委員 かけ離れた場合はいくらだったのか。

加藤下水道維
持担当参事

第10負担区の場合は、1,766円です。

花岡健太委員

第1次と第2次で受益者負担金が1.3倍になってしまっている。これは市民の方からすると不公平感を感じられるのではないかと思う。そうした不公平感を解消するために、受益者負担金を算定するときに、計算に何か工夫を加えたりしたのか。

加藤下水道維
持担当参事

不公平感を解消するための取組としては、先ほど申しあげましたとおり、急激な上昇を抑える取組として、第1次市街化調整区域から第2次市街化調整区域の物価上昇率が約20%でしたので、物価上昇率を掛けるという算出方法にすることで受益者負担金の上昇を抑えることとしました。

仲上下水道局
長

補足ですが、第1次は第1次で金額を確定しているわけではなく、その中に第5区から第8区まであって、その都度、算出をし直して計算しています。第5区から第7区までは、その都度計算し直した結果、同じ金額だったということがございます。第8区については金額がかなり高くなってしまっているのでそのところだけは物価上昇率を掛けました。第1次は、最終的には1,130円になり、その後、第2次については、第10負担区ということで物価上昇率1.2倍の金額になっているというふうにご理解いただければと思います。

花岡健太委員 先日の議案質疑の中で、平米を掛けると、一部、受益者負担金が952万円だとか515万円だとか、それだけの負担になってしまう方がいるというふうに伺ったが、平均はどのくらいか。

加藤下水道維
持担当参事 第10負担区の受益者負担金の平均は、約89万円になります。

花岡健太委員 過去の負担区の平均の負担金と比べてどうなのか、数字で分かればお示しいただきたい。

加藤下水道維
持担当参事 第6負担区が約57万円、第7負担区が約79万円、第8負担区が約111万円となります。

花岡健太委員 今回、不公平感を緩和させるために、算出方法を変えたとのことだが、他の自治体でも同様の取組など、何か押さえるための算出方法を導入している自治体はあるのか。

加藤下水道維
持担当参事 他の市町村の受益者負担金の算出方法も確認していますが、大体、事業費に負担率を掛けるというやり方で算出しているのが一般的です。

大館隆行委員

今回、一部の方が500万円とか高額な負担金になるかと思うが、それに対して第1次の時も、負担金に対して減免というわけではないが、いろいろとやられたと思うが今回も同じような形でやられるのか。

加藤下水道維

今回の場合も、第1次と同様に1,000㎡を超える土地につきまして

持担当参事

は、例えば、畑や防風林など宅地として利用してない場合は、1,000㎡を超える部分については、賦課しますが、支払いを猶予する措置を取ります。

花岡健太委員

先日の議案質疑の中で、浄化槽を継続して使われる方は継続してそれを使えるっていうようなことをおっしゃっていた。その場合、この受益者負担金は、事業費を平米で割るので、そういう方が多ければ、さらに受益者負担金が多くなるという認識でよろしいか。

加藤下水道維

受益者負担金は、今回の条例改正によって確定するものなので、今後、

持担当参事

下水道に繋げないというようなお宅が出た場合でも、受益者負担金の金額は変わりません。

【質疑終結】

【意見】

花岡健太委員

日本共産党所沢市議団を代表して議案第60号「所沢都市計画下水道事

業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例制定について」、反対の立場から意見を申し上げます。

値上げに対して、分担金、負担金が上昇しすぎないための努力は理解できますが、下水道法第3条に「公共下水道の設置、改築、修繕、維持その他の管理は、市町村が行うものとする。」とあるように住民の公衆衛生を維持するのは自治体の責務であります。

第1次市街化調整区域下水道整備計画と第2次市街化調整区域下水道整備計画では、単位負担金額が1.3倍となっていれば、第2次市街化調整区域下水道整備計画の対象の方は不公平を感じて当然であり、是正が必要であります。

受益者負担金には物価高騰が反映されており、平均89万円もの負担を住民に強いるものです。都市計画法第75条第1項でも、「当該事業に要する費用の一部を当該利益を受ける者に負担させることができる」という規定があることから、法令上、受益者負担金は自治体の裁量によって決めることができるものです。よって、物価高騰の中、住民の負担軽減が必要であると判断し、反対いたします。

【意見終結】

【採 決】

川辺浩直委員
長

議案第60号については、挙手多数により、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案61号「所沢市公共下水道事業分担金条例の一部を改正する条例制定について」

【補足説明】なし

【質 疑】

花岡健太委員

この分担金の設定は、最新の受益者負担金に合わせるということなので、今回1,350円に分担金を上げれば、今まで第8区負担金に合わせた1,130円だったものが、分担金は繋げるときに発生する費用なので、繋げようと思ったら1,350円になってしまうということでしょうか。

加藤下水道維

そのとおりです。

持担当参事

花岡健太委員

分担金の算定は、どこの自治体もそのようにしているのか。

加藤下水道維

一般的には当市と同じようなやり方をとっています。

持担当参事

花岡健太委員

この分担金に関して、地方自治法の第224条が根拠になっており、分担金を徴収することができる、できる規定になっているので、自治体が独自に負担軽減を図ることも可能ということでしょうか。

加藤下水道維
持担当参事

自治体の条例によって決められますが、下水道に繋げることができるという公平性から、分担金と負担金と同じ額としております。

【質疑終結】

【意見】

議案第61号「所沢市公共下水道事業分担金条例の一部を改正する条例制定について」に関しまして、日本共産党所沢市議団を代表して反対の立場から意見申し上げます。議案第60号と同様に、できる規定であるので、法令上、分担金は自治体の裁量にて定めることができるものです。

物価高の中、住民負担の軽減必要であると判断し、反対いたします。

【意見終結】

【採決】

川辺浩直委員
長

議案第61号については、挙手多数により、原案のとおり可決すべきものと決する。

休憩（午前9時23分）

（説明員 交代）

再開（午前9時24分）

○議案第65号「北野下富線（4工区）道路築造工事（下部工その1）

請負契約締結についての一部変更について」

【補足説明】なし

【質 疑】なし

【意 見】なし

【採 決】

川辺浩直委員
長

議案第65号については、全会一致、可決すべきものと決する。

○議案第66号「市道路線の認定について」

○議案第68号「市道路線の廃止について」

川辺浩直委員
長

議案第66号及び議案第68号については関連がありますので、一括議題としてよろしいでしょうか。

(委員了承)

【補足説明】 な し

【質 疑】 な し

【意 見】 な し

【採 決】

川辺浩直委員
長

議案第66号については、全会一致、可決すべきものと決する。

議案第68号については、全会一致、可決すべきものと決する。

○議案第67号「市道路線の認定について」

【補足説明】なし

【質疑】なし

【意見】なし

【採決】

川辺浩直委員
長

議案第67号については、全会一致、可決すべきものと決する。

休憩（午前9時28分）

（説明員退室、休憩中に協議会を開催）

再開（午前9時40分）

○所管事務調査事項について

前田浩昭委員

「市街地整備について」を当委員会の所管事務調査事項としたい。

山口浩美委員

「土地利用について」も付け加えてはいかがか。

川辺浩直委員
長

当委員会の所管事務調査事項は「市街地整備について」、「土地利用について」に決定とすることによろしいですか。

（委員了承）

○視察について

川辺浩直委員
長

視察先については、日程等の都合により調整が必要となることから、正副委員長にご一任いただくことでよろしいでしょうか。また、視察の時期については、10月下旬と11月上旬で調整することでよろしいでしょうか。

(委員了承)

散 会 (午前9時42分)

建設環境常任委員会

令和 7 年 6 月 6 日 (金)

開 会 午前 ・ 午後 9 時 0 分
散 会 午前 ・ 午後 9 時 4 2 分
場 所 第 6 委員会室

委 員 長	川 辺 浩 直	✓
副 委 員 長	花 岡 健 太	✓
委 員	島 田 一 隆	✓
〃	前 田 浩 昭	✓
〃	山 口 浩 美	✓
〃	中 毅 志	✓
〃	大 舘 隆 行	✓
〃	秋 田 孝	✓

議 長	粕 谷 不 二 夫	
-----	-----------	--

●説明員等出席表

【建設環境常任委員会】 令和7年6月6日

説明員等			
部局	課	職名	氏名
建設部		部長	肥沼 宏至
建設部		次長	吉田 進一
建設部	建設総務課	課長	山田 和弘
建設部	道路建設課	課長	岩崎 幸司
建設部	建設総務課	主査	佐藤 克範
建設部	道路建設課	主査	木下 眞阿
上下水道局		上下水道局長	仲 正之
上下水道局		次長	草薨 秀夫
上下水道局	下水道維持課	参事	加藤 孝雄
上下水道局	総務課	課長	中林 正太
上下水道局	総務課	副主幹	岩雲 一如
上下水道局	下水道整備課	課長	森田 敏幸
上下水道局	下水道維持課	主査	鹿島 義則

議会事務局		
部局	職名	氏名
議会事務局	主査	山玉 和男
議会事務局	主任	羽鳥 弘美

建設環境常任委員会

【第6委員会室】

川辺 浩直
委員長

花岡 健太
副委員長

山口 浩美
委員

中 毅志
委員

大館 隆行
委員

前田 浩昭
委員

秋田 孝
委員

島田 一隆
委員

説明員席